

# 自民1増 42議席

## 県議選

# 共産は奪還 2議席

# 女性過去最多の9人

12日に投開票された県議選(定数86)は、無投票の16選挙区20人を除き、29選挙区で計66人の当選者が決まった。自民は42議席を獲得し、改選前から1議席増やした。民主は17議席で改選前を維持。初参戦の維新は当選を果たせず、公明は改選前の11議席を確保した。前回議席を失った共産は2議席を獲得。社民は議席ゼロで、農政連は2議席だった。投票率は前回比2・24ポイント減の40・88%で過去最低。女性は前回より5人増え、過去最多の9人となった。

過半数を狙った自民は現職38人、新人8人を擁立し、このうち、現職37人、新人5人が当選した。ただし、中間市区では当選5回のベテランが落選したほか、県内で唯一、民主公認候補と

目指した民主は現職16人、新人4人を立てた。北九州

市小倉南区と同市若松区でいずれも現職が落選。福岡市南区や遠賀郡区などで新人3人が当選した。

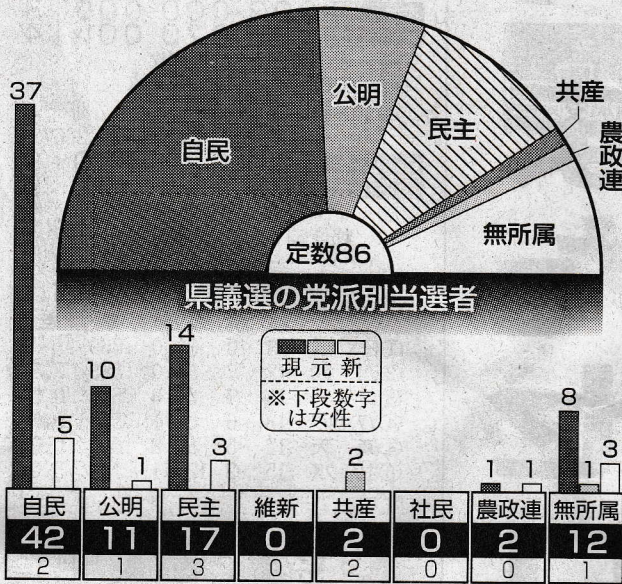
「第三極勢」として初議席を目指した維新は新人5人を擁立したものの届かな

かった。公明は現職10人、新人1人を擁立し、全員が当選を果した。共産は都市部を中心に元職2人、新人10人をそろえ、北九州市小倉南区、同市若松区の元職2人が当選した。

社民は唯一の公認候補を田川郡区に擁立したが及ばなかった。

農政連は現職1人、新人2人を擁立。選挙戦に突入した粕屋郡区で新人が敗れ、当選は無投票の現職と新人各1人とどまり、現有議席を1減らした。無所属は12人が当選した。

当選者の内訳は現職70人(前回61人)、元職3人(同ゼロ)、新人13人(同25人)。



県議選の党派別得票率

